米沢市認知症地域支援推進員通信　No.20　令和8年　秋号

おらだの声

発行者：米沢市認知症地域支援推進員
問合先：高齢福祉課地域包括支援担当
☎22－5111

活動認知症サポーターさんを紹介します



太田　顕子 さん

太田さんは昨年認知症サポーター養成講座を受講し認知症サポーターになりました。米沢市民生委員としても活躍されています。どんなことがきっかけで活動認知症サポーターになったのかお話を伺いました。

Q1 認知症サポーター養成講座を受講しようと思った理由を教えてください。

A 認知機能の低下が心配される身内の介護生活の見守りがきっかけです。どんな対応が良いのか勉強したいなという思いから受講を決めました。

Q2 実際、どんな場面で役に立ちましたか？

A 本人が何を考えているのか私自身が考えるようになりました。相談できる方とのつながりも増え、私自身が焦らなくなったように感じています。昨年１２月より民生委員として活動している中で、お会いした方のお話を聞きながら日々勉強させてもらっています。

Q3 実際にほのぼのカフェ（米沢市おれんじ喫茶）の協力員として活動しているとお聞きしました。協力員になってみようと思ったのはなぜですか？

A 身内の介護や民生委員活動を通じて、様々な機関の専門家と出会いその中で一緒に活動してみないか？と声をかけてもらいました。私一人ではできないな、と思ったのですが、みんなが一緒だったので始められました。私が学んだことを参加してくれている方に一つでも多くお伝えできればいいなと思い活動しています。



参加者に体操を教えている風景
太田さん自身が楽しそうですね！

退職後も大活躍の
活動認知症サポーターさん！！

八巻 秀子 さん



カフェに来ると、皆とお話出来て
私の方が元気をもらえるわ！

今回はおれんじ喫茶（認知症カフェ）で大活躍の八巻秀子さんをご紹介します。「地域の皆さんの役に立ちたい！」と思い、現在３か所のおれんじ喫茶（たまカフェ、ＫＣカフェ、万茶場）で活動されています。おれんじ喫茶の参加者ともすっかり顔馴染みの関係になり、最近こんな話があった、あんな話があったと和気あいあいとした雰囲気で話に花が咲きます。
もちろん参加者の一人として他参加者と一緒に悩んだり解決策を話し合ったりしています。これからも一緒に頑張りましょう☆

たまカフェでの声をご紹介します

９月９日たまカフェ（米沢市おれんじ喫茶）にて地域包括支援センターに実習に来られた東北文教大学学生考案「お買い物ゲーム」を行いました。このゲームは、実習を通して認知症カフェや認知症施策への取り組みに触れ考案してくれました。記憶への刺激や判断力を養う事、コミュニケーションを深める事など様々な目的を持たせた、おれんじ喫茶で行う催しにぴったりの内容になっています。このゲームに参加された皆さんの感想をご紹介します。

ヒントを出す方も
難しいね。







一緒に活動してくれる方を募集します！

認知症サポーターやボランティアの登録がなくても
まずはお気軽にお問い合わせください。
問合先：高齢福祉課 地域包括支援担当 ☎ 22-5111

おれんじ喫茶（認知症カフェ）について

米沢市ホームページにも
詳しく掲載しています。
ぜひ御覧ください。